

# クルーズの最近の動向について

---

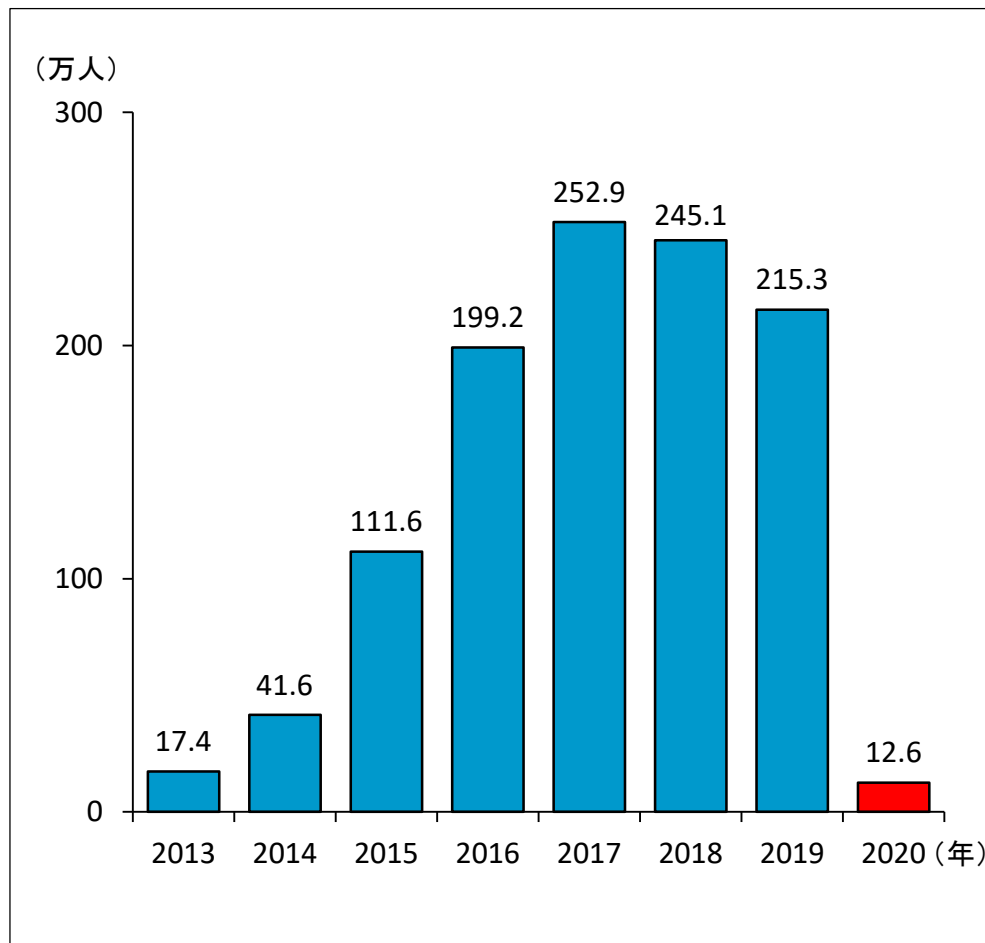
令和4年2月18日

港湾局産業港湾課クルーズ振興室

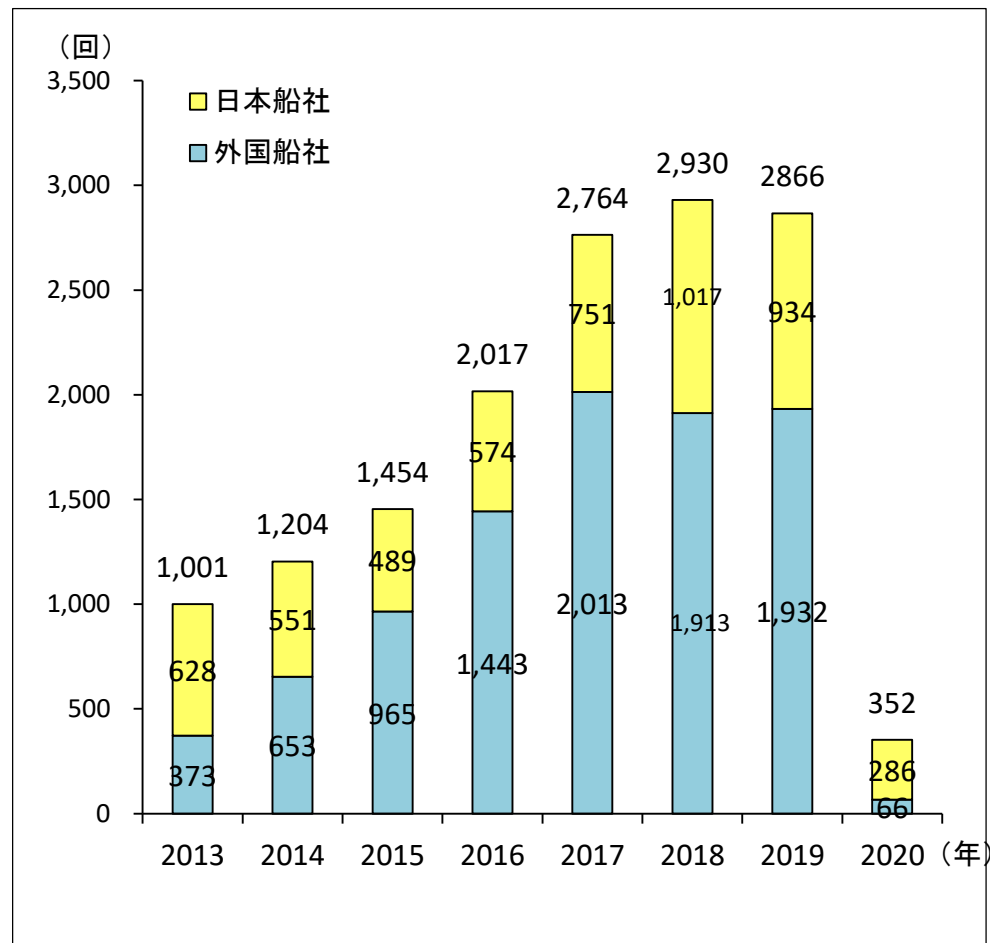
# 我が国のクルーズ船寄港に関する状況

○2020年の訪日クルーズ旅客数は、前年比**94.1%減**の12.6万人、我が国港湾への寄港回数は前年比**87.7%減**の352回（外国船社66回、日本船社286回）となった。

## 訪日クルーズ旅客数



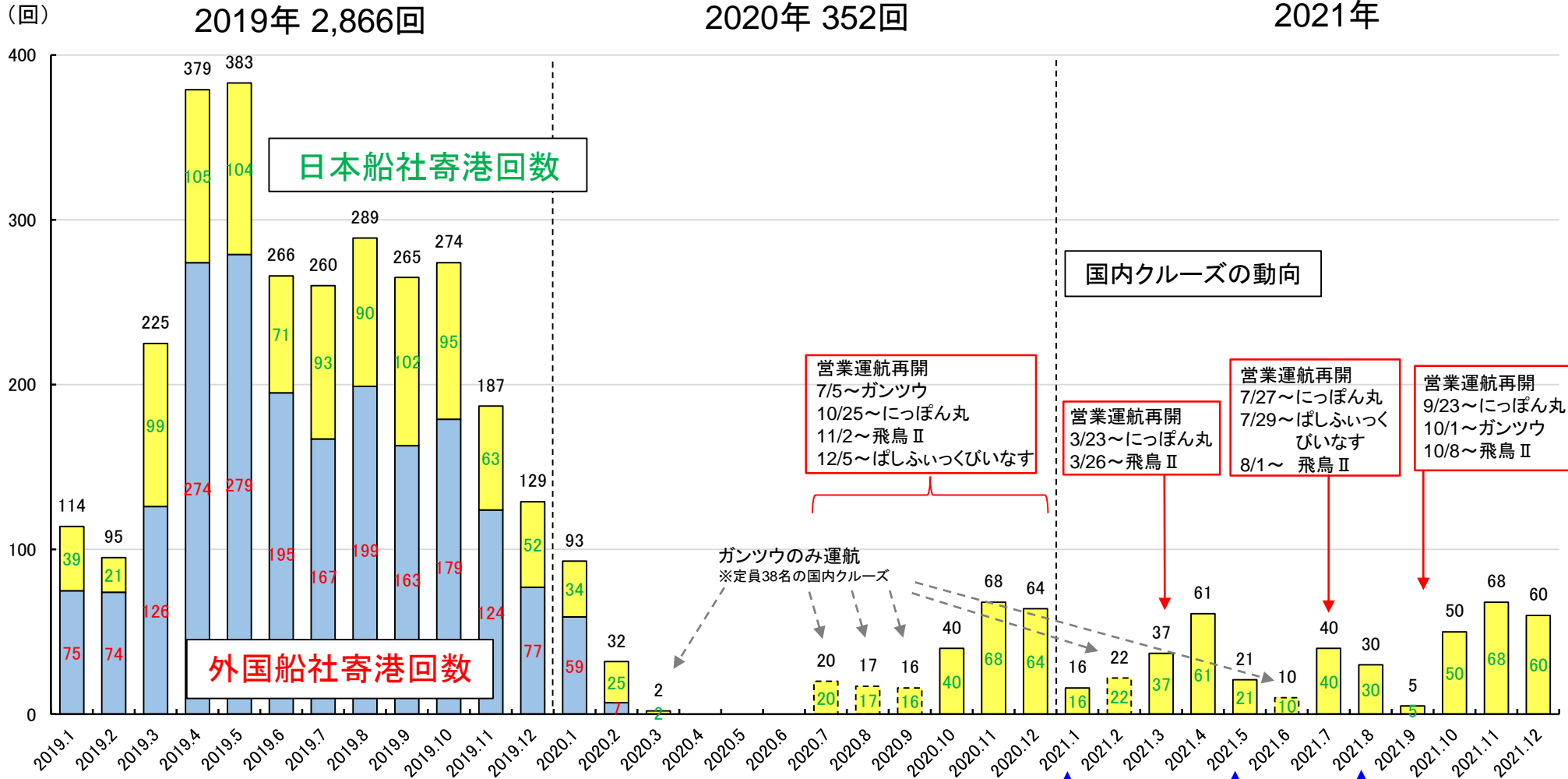
## クルーズ船寄港回数



注1) 出入国在留管理庁の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。  
 注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

# 我が国の港湾へのクルーズ船の寄港状況

## 我が国の港湾へのクルーズ船の月別寄港回数



※港湾管理者の聞き取りを基に国土交通省港湾局作成  
 ※クルーズ: レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの

2021.1～  
緊急事態宣言発出に伴い、ガンツウを除いて再度運航休止

2021.5～  
緊急事態宣言や運航中の飛鳥Ⅱから陽性者が確認されたことを受け、ガンツウを除いて再度運航休止

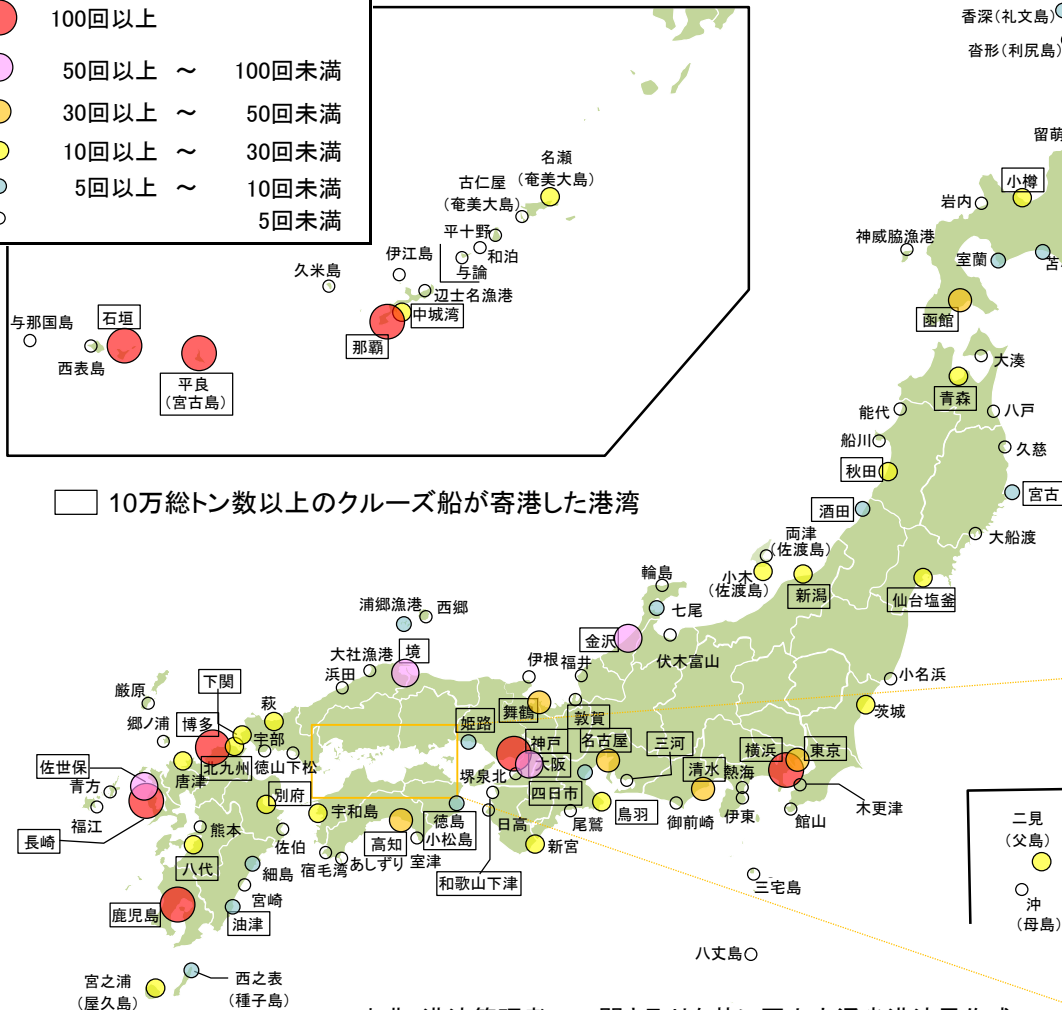
2021.8中旬～  
感染拡大に伴い、全船再度運航休止

# クルーズ船の寄港する港湾(2019年)

- 2019年にクルーズ船が寄港した港湾の数は全国で142港。うち、大型クルーズ船(10万総トン数以上)が寄港した港湾は42港。
- 那覇港が4年連続1位だった博多港を上回り初めて1位となった。

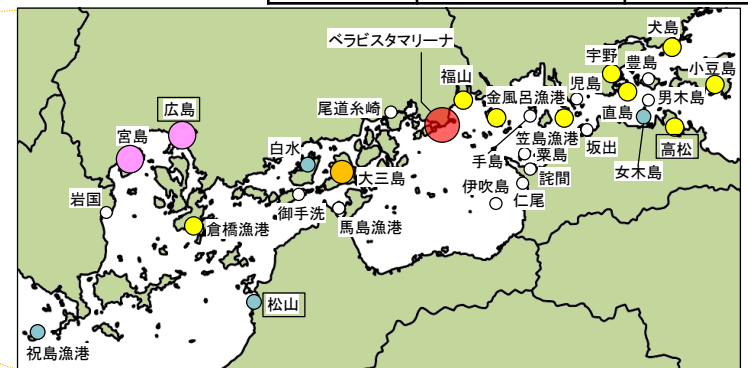
## クルーズ船の寄港する港湾

凡 例	
● (赤)	100回以上
● (紫)	50回以上 ~ 100回未満
● (黄)	30回以上 ~ 50回未満
● (黄)	10回以上 ~ 30回未満
● (青)	5回以上 ~ 10回未満
○ (白)	5回未満



## 2019年クルーズ船の寄港回数(上位10港)

順位	港名	寄港回数
1位	那覇港	260回
2位	博多港	229回
3位	横浜港	188回
4位	長崎港	183回
5位	石垣港	148回
6位	平良港 (宮古島)	147回
7位	神戸港	131回
8位	鹿児島港	106回
9位	ペラピスタマリーナ 【広島県】	100回
10位	佐世保港	79回



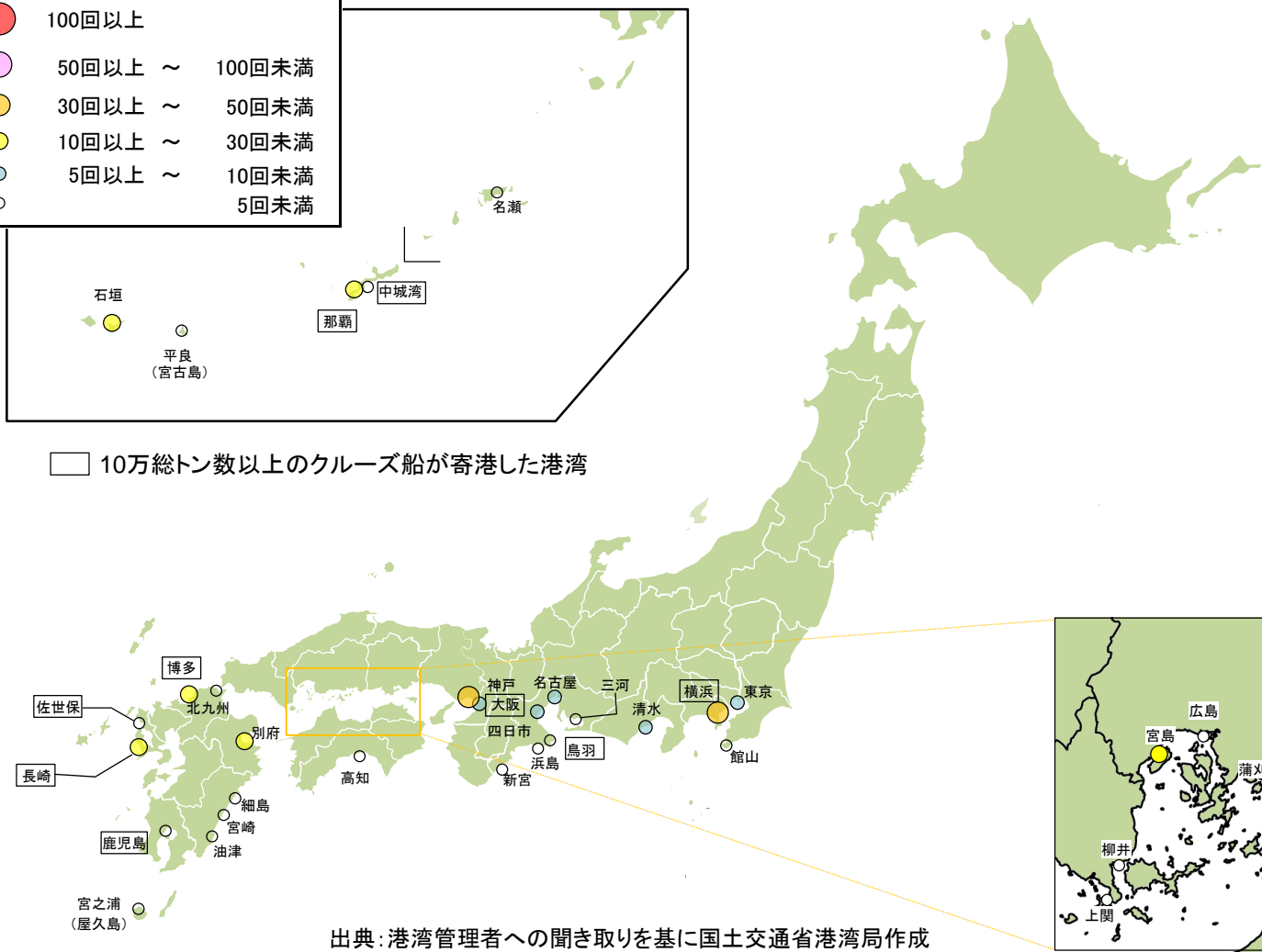
出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

# クルーズ船の寄港する港湾(2020年)

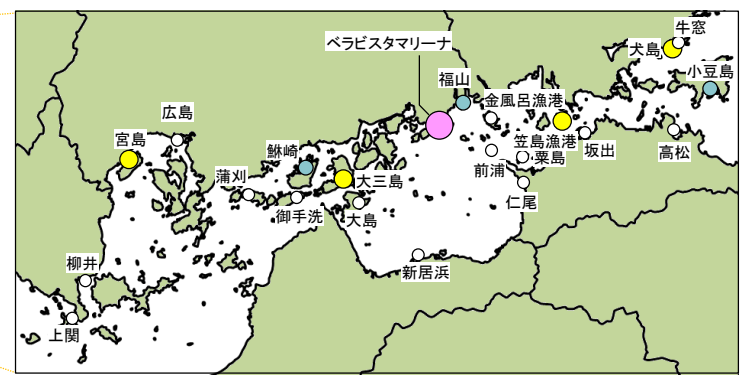
○2020年にクルーズ船が寄港した港湾の数は全国で50港。

## クルーズ船の寄港する港湾 (速報値) 2020年クルーズ船の寄港回数(上位10港)

凡 例	
● (赤)	100回以上
● (紫)	50回以上 ~ 100回未満
● (黄)	30回以上 ~ 50回未満
● (黄)	10回以上 ~ 30回未満
● (青)	5回以上 ~ 10回未満
○ (白)	5回未満



順位	港名	寄港回数
1位	ペラビスタマリーナ 【広島県】	53回
2位	横浜港	47回
3位	神戸港	30回
4位	宮島	19回
	那覇港	
6位	笠島漁港	16回
7位	博多港	14回
8位	大三島	13回
9位	犬島	12回
10位	石垣港	10回
	長崎港	



出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

# クルーズを安心して楽しめる環境づくりへの取り組み

- 国土交通省において、感染症や危機管理の専門家等の意見を聞きながら、クルーズの安全・安心の確保に関する検討・中間を実施し、令和2年9月18日に中間とりまとめを公表。
- 上記中間とりまとめの公表に合わせて、関係業界が、国内クルーズを対象としたクルーズ船及び受入港の感染症対策に関するガイドラインを策定。
- 各ガイドライン等に基づき、寄港地における受入体制の構築、クルーズ船の寄港検討が実施されている

国土交通省におけるクルーズの安全・安心確保に係る検討・中間とりまとめ（令和2年9月18日）

## 日本外航客船協会ガイドライン（国内クルーズを対象） ※令和2年9月18日初版、令和3年9月22日第五版

- 乗客の事前スクリーニング
  - ・検温、質問票、本人確認 など
- 船内の予防策
  - ・マスク着用、手洗い、消毒、健康管理の徹底
  - ・船内施設の座席数減、間隔確保
  - ・換気の徹底 など
- 有症者発生時の拡大防止
  - ・船医による診療
  - ・船内隔離、イベント中止※ など
 ※一定の要件を満たした場合の緩和措置あり

## 日本港湾協会ガイドライン（国内クルーズを対象とした上記ガイドラインに対応） ※令和2年9月18日初版、令和4年1月11日第五版

- クルーズ船の旅客や乗組員、ターミナルビルの従業者の間の感染防止
  - ・症状のある者の入場回避、マスク着用
  - ・列や座席の間隔確保、消毒液又は手洗器配置など
- ターミナルビルの従業者の感染防止
  - ・健康状態確認 など

## 船内における感染防止対策 （クルーズ船事業者）

- ガイドラインに基づき、各船の対応マニュアルを作成
- 上記については、日本海事協会による第三者認証を取得（邦船3隻は認証を取得済）
- 邦船社については、衛生管理規程の作成・遵守を義務づけ（令和2年11月に海上運送法施行規則改正済）

## 旅客ターミナル等における感染防止対策 （港湾管理者等）

- 令和2年9月18日、「港湾管理者は、都道府県等の衛生主管部局を含む協議会等における合意を得た上で、寄港受入を事前判断」等を、港湾局から港湾管理者に要請
- 寄港地の関係機関等の情報共有体制整備のため、水際・防災対策連絡会議を設置

寄港地における受入体制の構築

クルーズ船の寄港検討

情報共有等

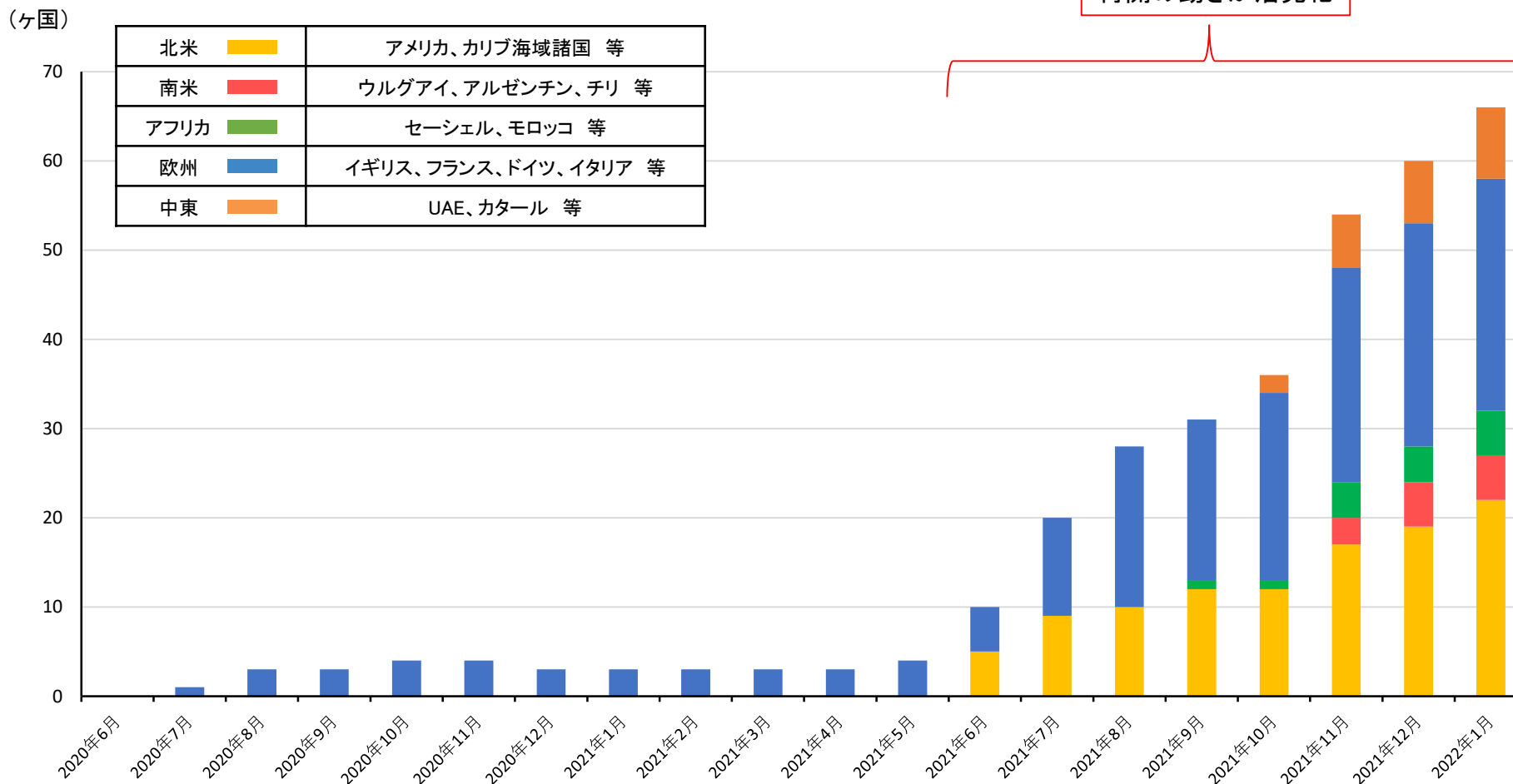
寄港地の関係機関等※

※衛生主管部局、港湾関係機関等

# 世界のクルーズ船の運航再開状況(国際クルーズ)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中でクルーズ船の運航休止を余儀なくされた。
- 国際クルーズについては、2020年7月から欧州において徐々に運航が再開され、2021年6月頃から欧州やアメリカ等で運航再開が活発化してきている。一方、アジアにおいては未再開。

## 国際クルーズ再開国数



クルーズを安心して楽しめる環境づくりを通じた地域活性化を促進するため、地方公共団体等が行う安全安心なクルーズ船の寄港促進や新たな要素を取り入れたクルーズの商品造成・実証実験、クルーズ船の安全な寄港再開支援に要する経費の一部を補助する。

## 事業内容

### ①安全安心なクルーズ船の寄港促進

- クルーズ船受入の相互理解促進  
→港や周遊先におけるクルーズ船寄港に対する理解促進
- 感染症対策を踏まえたクルーズ船寄港に係る新たなニーズへの実証的対応  
(例:感染症対策を踏まえたターミナル外の施設(ホテル等)での検査やチェックイン、CIQ等の手続・ターミナルまでの手荷物等の輸送支援の企画、実施、結果の整理・分析等の支援、前後泊パッケージ商品の造成、クルーズ船受入訓練、必要機器のレンタル)
- 安全対策を踏まえたクルーズ船の更なる寄港促進  
→商談会等のイベントを通じた積極的なクルーズ船寄港促進  
→寄港地における積極的な消費環境創出

### ②新たな要素を取り入れたクルーズの商品造成等

- 感染症対策を万全にした安全安心なクルーズに加え、外国人の需要が見込める世界自然遺産等のネイチャー要素を寄港地に取り入れたクルーズの商品造成に向けた調査、商品開発、実証実験等を支援  
→日本籍船乗客の多国籍化に向けた各国の旅行者のニーズ、船内のニーズ、外国人向けの販売網の調査  
→インバウンド需要の見込める注目度の高いコンテンツの開発、モデルコースの造成、外国人を含めたモニタリングツアーの実施

### ③クルーズ船の安全な受入検討支援

- 寄港実績の無いクルーズ船の寄港の際、航行安全の検証等を行う  
港湾管理者への支援



## 事業対象者

- 地方公共団体(港務局含む)
- クルーズ振興のための地域の協議会等

## 補助率

1/2以内



- 訪日観光のポテンシャルを有している海洋周辺地域への訪日観光を促進し、地域の活性化を図るため、地方公共団体等が行う感染症対策を踏まえたツアーやイベント等の観光コンテンツの磨き上げや関連する受入環境整備、災害からの訪日観光客の安全確保の取組みに要する経費の一部を補助する。

## 事業内容

### ①観光コンテンツの磨き上げ

- 旅行者のニーズの変化を捉えたツアー造成・販売に係る試行(事前調査、二次交通の実証を含む)及び海洋周辺地域のイベントへの訪日外国人の誘客促進(諸外国に対する情報発信を含む)
- AR等の先進的な体験型観光の導入等の感染症対策にも資する魅力的な観光コンテンツ・情報コンテンツの造成(諸外国に対する情報発信を含む)

### ②受入環境整備

- 船・船の発着場所・観光資源におけるICTを活用した多言語情報発信、環境整備  
(例：Wi-Fi整備、多言語対応、洋式トイレ、キャッシュレス対応、プロムナード、予約システム等の整備)
- 災害からの訪日観光客の安全確保

## 事業対象者

- 港湾管理者
- 地方公共団体
- 民間事業者(観光地域づくり法人(DMO)含む)
- これらにより構成される協議会やコンソーシアム

## 補助率

1/3以内

### 観光コンテンツの磨き上げ



オープンエアを活用した  
交流拠点の形成・イベント開催



プライベート感を重視したツアーの形成



諸外国への情報発信

### 訪日観光客受入環境整備(※)



Wi-Fi整備



多言語対応



洋式トイレ化



キャッシュレス対応



プロムナード整備

### 災害からの安全確保



多言語避難誘導



多言語防災ハンドブック等

※磨き上げを実施した観光コンテンツに関するもの  
(本補助金の活用等により並行して実施するものを含む)に限る